



2025年 大変お世話になりました ありがとうございました

本年も、保護者、地域の皆様には、石原小学校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本校が大切にしている「強く・正しく・瞳ましく」の精神は、子供たちが未来を力強く生きていくための「生きる力」の根幹です。その実現に向けて、日々の教育活動を進めるなか、皆様のお力添えはとても心強いものでした。

今年1年を振り返りますと、登下校の見守り、地域行事での温かな言葉掛け、学校の活動へのご協力、防犯・防災面でのお力添えなど、多くの場面で子供たちを見守り、励まし、支えてくださいました。こうした日常の関わりこそが、子供たちに安心と自信をもたらし、自ら学びに向かう姿勢や、仲間と共にによりよく生きようとする力につながっていました。

石原の地域は「みんなで子供を育てる」文化が息づいています。今年も、行事のたびに温かい拍手をいただき、困っている子にはさりげなく手を差し伸べ、日ごろから子供たちの成長を気にかけていただけたる保護者、地域の皆様の存在に、教職員一同、改めて深く感謝申し上げます。

たくさんの方々に支えられている学校であることを強く実感するとともに、来年2026年も、子供たちが安心して学び、チャレンジできる教育環境をこれからも守り続けたいと思います。

年の瀬を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。どうぞ良い年末年始をお迎えください。

来年も引き続き、石原小学校の子供たちを温かく見守っていただくとともに、より良い学校づくりにお力添えをいただけますよう、お願ひ申し上げます。

熊谷市立石原小学校長 爪川由美子



【持久走大会】

12月3日(水)に持久走大会を行いました。今年も立正大学サッカーチームの皆さんに伴走のご協力をいただきました。どの児童も、日ごろの成果を発揮し、最後まであきらめずに走り切ることができました。

【SDGsの取り組み(特別支援学級)】

12月12日(金)にタカヒロフーズの田野様にお越しいただき、特別支援学級のみんなで熊谷小麦を使って、うどん作りを体験しました。五感を使って熊谷が誇る熊谷うどんを知ることができました。

【SDGsの取り組み(5年生)】

12月15日(月)にコープみらい様にお越しいただき、フードロスの学習を行いました。児童は、「日本における年間のフードロスの量」、「世界では、食べ物が平等に行き渡っていないこと」を知り、フードロス問題解決に向け、意欲を高めました。